

# 令和6年 能登半島地震

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 12:00  
青山学院大学青山キャンパス 17号館 3階 17309室

主催：日本地理学会能登半島地震災害対応本部  
オーガナイザー：鈴木康弘(名古屋大)・青木賢人(金沢大)・田中耕市(青山学院大)・佐藤浩(日本大)

## プログラム

**どなたでも参加できます！**  
(17号館3階受付にお立ち寄りください)

前半司会：佐藤浩(日本大) (\*は招待講演)

- 9:00-9:05 開会の挨拶 (災害対応本部長 箸本健二(早稲田大))  
9:05-9:15 青木賢人・林紀代美(金沢大)：能登半島の地域的特徴およびその震災への影響  
9:15-9:30 \*杉盛啓明(珠洲市役所)：珠洲市の被災状況と復旧・復興に向けた課題  
9:30-9:45 \*菅野拓(大阪公立大)：石川県庁を中心とした能登半島地震対応へのアクション・リサーチー広域避難に焦点をあててー  
9:45-10:00 \*松原宏(福井県立大)：能登半島地震による地域経済への影響と復興に向けた課題  
10:00-10:10 鈴木康弘(名古屋大)：能登半島地震直後の地理学的調査の社会的意義  
(10:10-10:20 質疑・応答)  
10:20-10:30 後藤秀昭(広島大)ほか：令和6年能登半島地震に伴う海岸の隆起と海底活断層  
10:30-10:40 中埜貴元(国土地理院)ほか：令和6年能登半島地震に伴う斜面崩壊・堆積分布図及び津波浸水域推定図の作成と提供  
10:40-10:50 小岩直人(弘前大)ほか：令和6年能登半島地震による石川県内灘町における液状化の被害  
10:50-11:00 小倉拓郎(兵庫教育大)ほか：令和6年能登半島地震で隆起した海岸地形を対象とした高精細地形データの取得と活用  
11:00-11:10 荒木一視(立命館大)：能登半島における救援活動の困難性と集落の孤立は予測できたのではないのかー南海トラフ地震を見据えて地理学にできることー  
11:10-11:20 原裕太(東北大)ほか：大規模災害の復旧復興期における人文社会系・計画系諸科学の連携と地理学の貢献可能性

後半司会：鈴木康弘(名古屋大)

- 11:20-11:35 ポスター発表12件の紹介 (ポスターは17号館4階ラウンジ1に掲示(19日9:00~17:00))  
11:35-12:00 質疑・討論(ポスター発表者や会場から)

